

新たな地域福祉の推進に向けて

～平成18年度県社協事業計画・予算～

去る3月28日に開催した評議員会で、平成18年度の
 本会事業計画・予算が決定しました。

平成18年度から22年度までの5か年を計画期間と
 する新たな「神奈川県社会福祉協議会活動推進計画」
 の初年度にあたり、本年度は運動開始から30周年を
 迎える「ともしび運動」の記念事業や、日常生活圏

域における災害時の支援体制整備等の各種課題の解
 決に取り組むとともに、福祉サービスの質の向上を
 目的とする様々な事業を実施していきます。併せ
 て、本会の経営体制や財政基盤の強化にも取り組む
 等、今後の事業展開の基礎づくりを進めます。

(活動推進計画については、11面参照)

だれもが参加でき、ともに
 支え合う機会づくり

県民に向けた地域福祉への意識
 啓発やボランティア、当事者等の
 市民活動への支援を通じ、参加と
 協働による福祉コミュニティ形成
 の促進に取り組みます。

地域福祉意識の一層の啓発・醸
 成に向け、「ともに生きる福祉社
 会づくり」を理念とする「ともし
 び運動」が三十周年を迎えるにあ
 たり、県民参加による記念事業を
 実施します。併せて、ともしびポ
 スター・絵本コンテストや福祉作
 文コンクールを開催する他、学童
 ・生徒に対する福祉意識の醸成の
 促進や「ともしび基金」等を利用
 したボランティア等の市民活動へ
 の支援を行います。また十二月の
 障害者週間を中心に、障害者の自
 立と社会参加の促進に向けた様々
 な場面で、福祉啓発等の推進に取
 り組みます。

さらにボランティア相談の実施
 や、研修等を通じたボランティア
 グループへの学習機会の提供、ボ
 ランティアコーディネーター等に
 対する研修の他、大学等における
 学生ボランティアセンターの機能
 強化等、ボランティア活動ならび
 に市民活動に対する各種支援を行
 います。

当事者の自立、社会参加の促進
 に向けては、セルフヘルプグルー
 プ活動に関する相談や学習・交流
 機会の提供等、様々な支援を行う
 とともに、障害者の就労と社会参
 加の場としての「ともしびショッ
 プ」設置等を支援し、障害者本人
 が持つ力を発揮できる社会環境作
 りをすすめます。

また、障害者や身体機能の衰え
 た高齢者等の社会参加を促進する
 ため、「障害者ITサロン」の運営
 や指導等に当たるパソコンボラン
 ティア等の育成を図るとともに、
 活力ある長寿社会の実現に向けシ
 ニア層の生きがいづくりのための
 仲間づくりの支援や、文化的活動
 促進の取り組み等、各種事業を実
 施します。

生活圏域を基盤とする地域福祉 の推進

地域における福祉関係者との協
 働により、様々な場面における地
 域福祉の推進の充実を図ります。

日常生活圏域における幅広い住
 民活動の交流を促進するととも
 に、外国籍県民との共生に向けた
 「多文化共生の地域づくり」の検
 討、住民活動の推進・調整役であ
 る「地域福祉コーディネーター」の
 役割の明確化等に取り組みます。

また社会福祉施設経営法人及び

平成18年度新規・重点事業(一部抜粋)

(単位：千円)

ともしび運動30周年記念事業	7,803
ともしびショップ支援事業	3,335
地域福祉コーディネーター活動モデル事業	2,059
災害時福祉救援体制整備事業	3,134
福祉サービス第三者評価事業	23,123
福祉サービス向上マニュアル作成事業	1,888
就職支援ガイダンス実施事業	802
介護支援専門員証交付事務事業	5,985
社会福祉施設・団体名簿発行事業	3,606

社会福祉施設、民生委員児童委員
 協議会、保護司会、市町村社協、
 各種団体等、本会の部会活動への
 支援を通して、日常生活圏域にお
 ける生活課題の解決に取り組ま
 ます。特に市町村社協に対しては、
 住民参加・協働による地域福祉の
 核となるよう、役職員を対象とし
 た階層別・課題別の研修や、各種
 課題の調査研究・情報提供を行う
 とともに、ブロック別連絡協議会
 の開催等、広域的な支援に取り組
 みます。また経営指導を始めとし
 る市町村社協の運営体制強化も行
 っていきます。

さらに、災害時における福祉活